

5 目標に対する実態の分析

5-1 市民の自転車利用の実態

泉南市における今後の自転車活用推進の方向性やその取組の内容・進め方を検討するため、自転車の利用実態や市民のニーズを把握することを目的としたアンケート調査を実施しました。

アンケート調査で把握した、市民の自転車利用の状況や自転車に対するニーズ等を次ページ以降に示します。

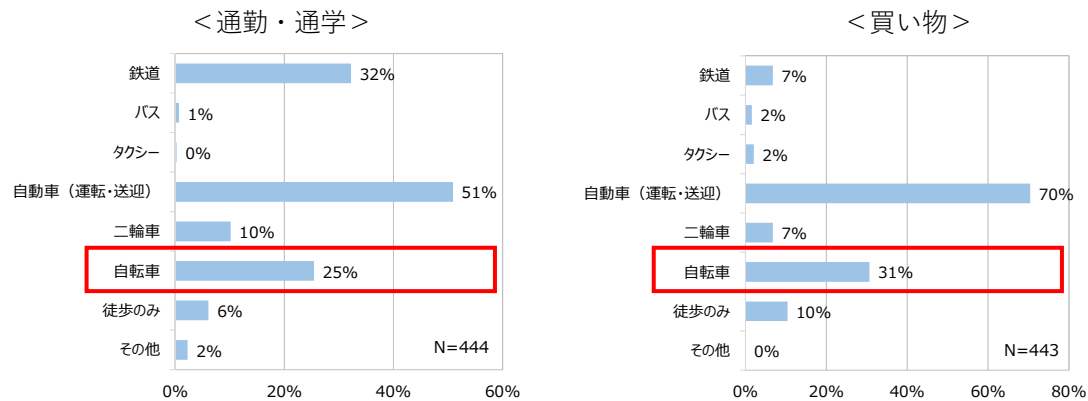
表 5-1 アンケート調査の実施概要

	市民アンケート	利用者アンケート
対象	・ 泉南市内に住む市民 ・ 計 3,000 名を無作為抽出	○市内中学通学者 ・ 中学 2 年生 540 名を対象 ・ 学校を通じて配布、実施 ○一般利用者 ・ 街頭にて 600 名に配布 ○レンタサイクル利用者 ・ 観光協会を通じて 10 名に配布
実施期間	・ 令和 2 年 4 月中旬～4 月下旬	・ 令和 2 年 6 月中旬～6 月下旬
質問内容	・ 個人属性 ・ 日頃の移動パターン、交通手段 ・ 移動の制約、困っていることの有無 ・ 自転車利用環境に対する満足度、評価 ・ 自転車ルールの認知、順守状況 ・ 自転車に対する愛着 ・ 健康づくりの状況（サイクリング実施有無等） ・ 泉南市の自転車通行空間検討への興味等	・ 個人属性 ・ 自転車の利用パターン、利用経路、改善要望箇所 ・ 自転車利用環境に対する満足度、評価 ・ 自転車ルールの認知、順守状況 ・ 自転車に対する愛着 ・ 駐輪場の利用状況等

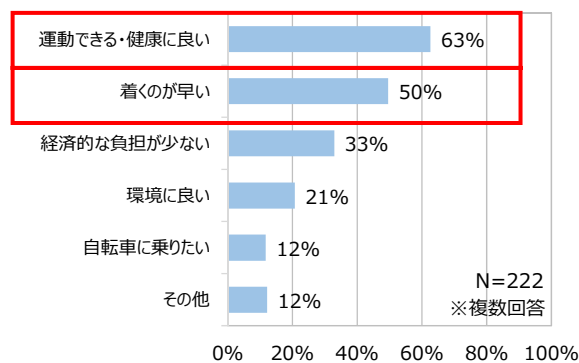
（１）自転車の利用状況

- ・自転車は2～3割程度の人が利用し、多くが自動車を利用しています。
- ・運動できる・健康に良いや、着くのが早い等の理由で主に自転車が使われています。しかし、自転車がないため条件的に利用するのが難しい人も一定数みられます。

■日頃利用している交通手段

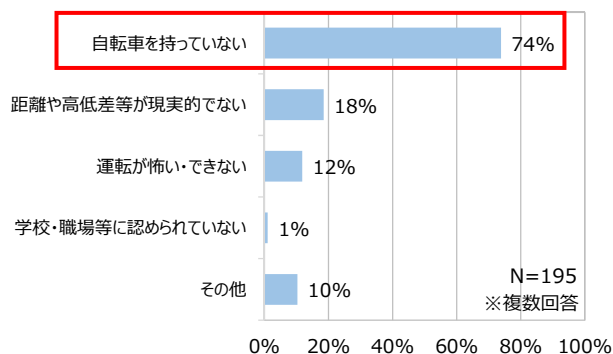


■普段自転車を利用する理由

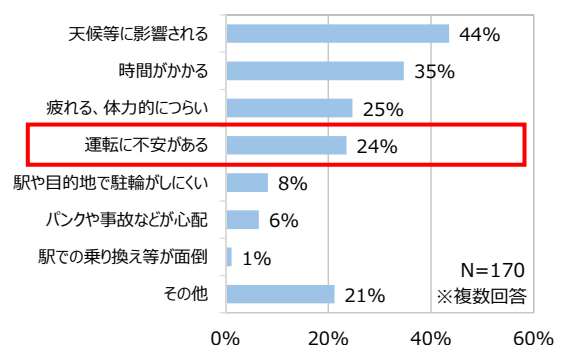


■普段自転車を利用しない理由

<条件的に利用できない理由>



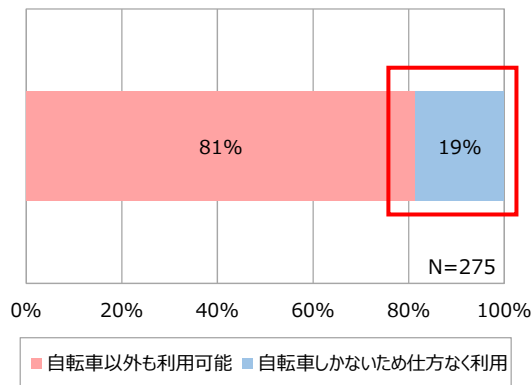
<利用できる状況にあるが利用しない理由>



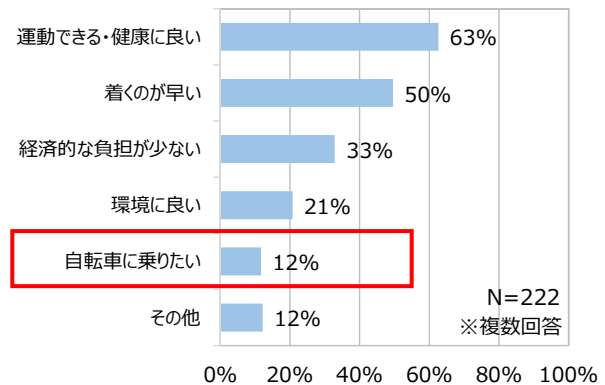
（２）自転車の使い方・態度の現状

- ・約 2 割は仕方なく利用しており、自転車に乗りたいという理由で使う人は約 1 割となっています。
- ・自転車が好きな人は約半数にとどまっており、自転車を譲り合いながら使う手段と考える人は 5 割以下となっています。
- ・ルール認知度は高いですが、常に順守している人はほとんどの項目で 5 割以下となっています。

■自転車の利用意向

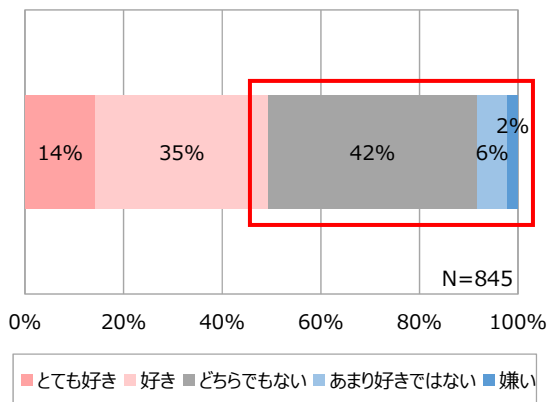


■自転車を利用する理由【再掲】

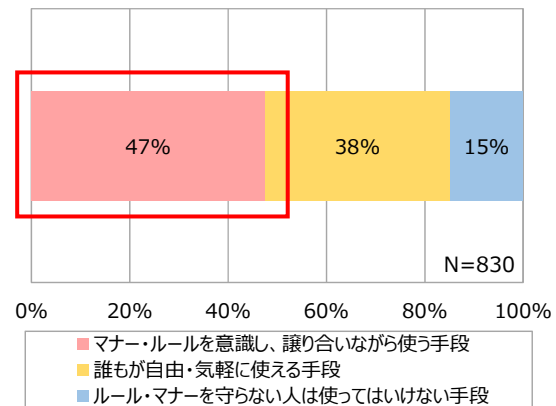


■自転車利用に対する態度

<自転車に対する愛着>

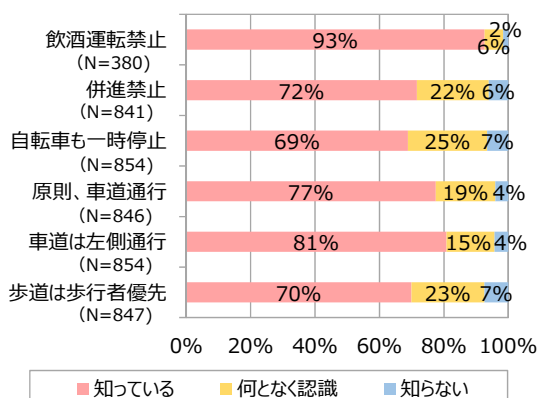


<自転車に対する考え>

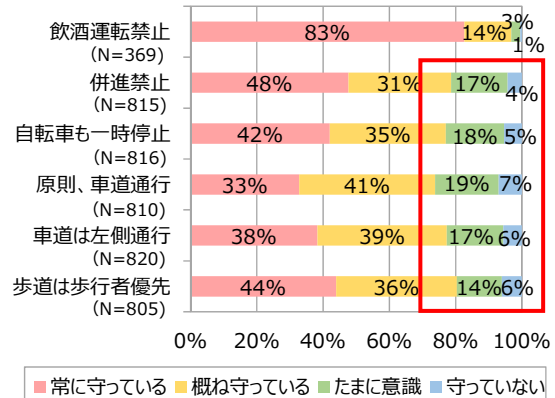


■自転車の安全利用に対する現状

<自転車ルールの認知状況>



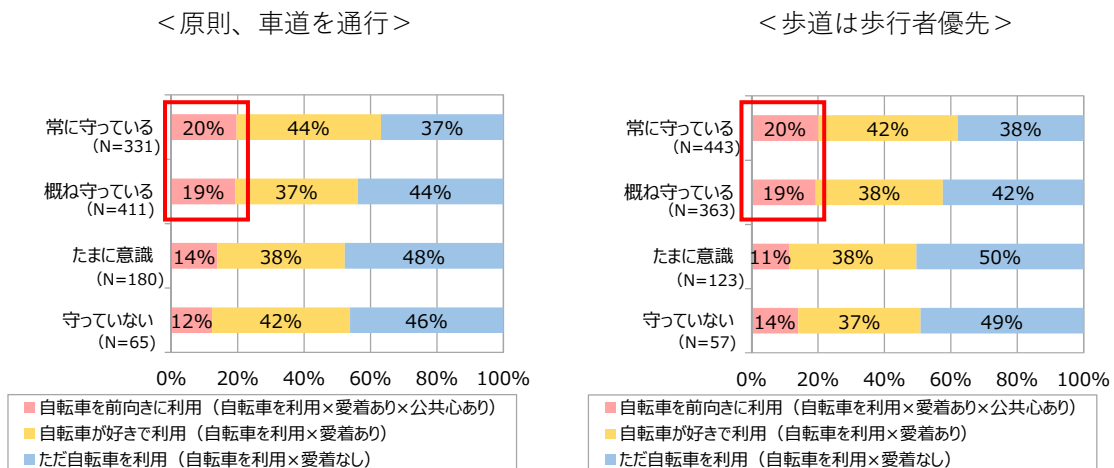
<自転車ルールの順守状況>



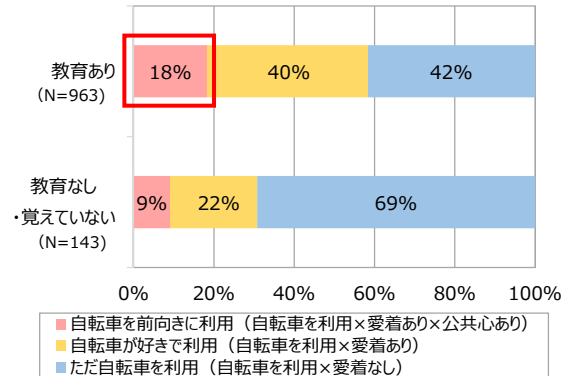
（3）愛着や公共心をもつ自転車利用者の傾向・特性

- ・日頃からルールを守っている人や、自転車利用に関する教育を受けている人は、前向きに自転車を使う人（愛着・公共心あり）の割合が多くなっています。
- ・また、前向きに自転車を使う人の多くは、多様な層が通りやすい自転車用空間の確保や自転車通行位置・方法の明確化が必要と考えています。

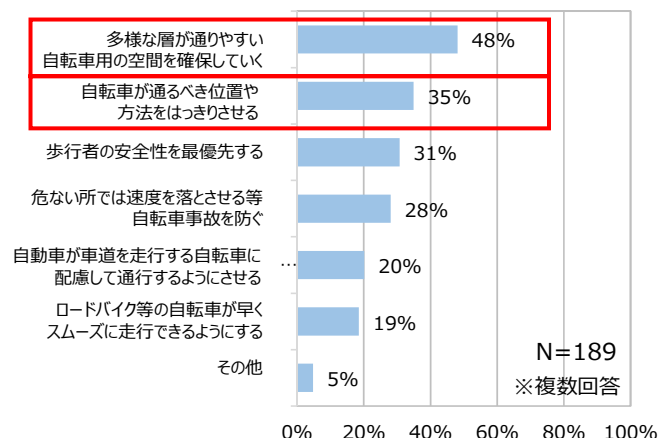
■使い方に対する自転車ルール順守の影響



■使い方に対する自転車教育の影響

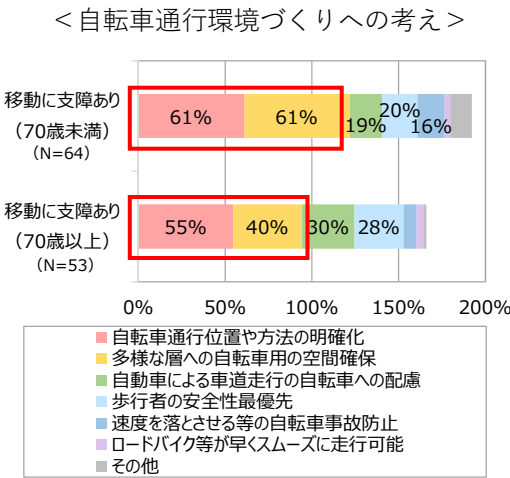
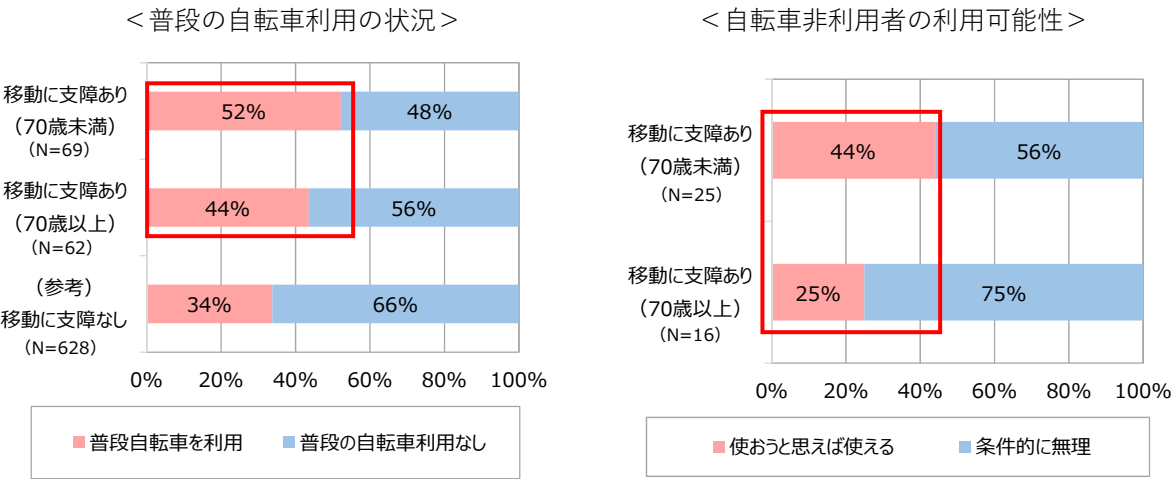


■前向きに自転車を使う人の自転車通行環境づくりへの考え



（４）高齢者・移動に支障がある人の自転車利用状況

- ・移動に支障があっても普段から自転車を利用する人は約４～５割存在しています。
- ・また、非利用者の約３割は自転車を使える状況にあると回答しています。
- ・自転車を利用するために必要なサポートとしては、電動アシスト自転車等の高齢者でも安心な車両普及やドライバーへの意識醸成等の意見が挙げられています。



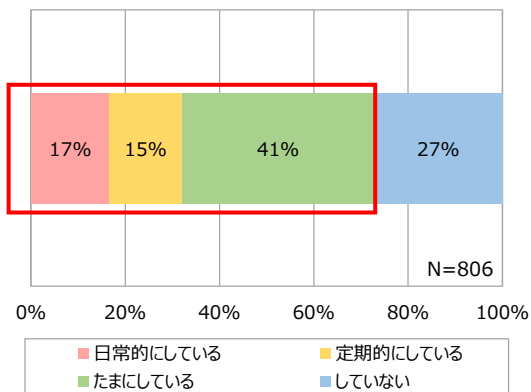
■ 自転車を利用するために必要なこと・サポート（自由意見）

マナー・ルール	・車道の左側を走行しているが、いつも右側すれすれを自動車追い抜いて怖いので、自転車に配慮してほしい。
通行環境	・側溝やコンクリートの境目・段差でこけそうになることもあり、車道を走行するのが怖い。 ・自転車で車道を走行しなければならないところが多く、怖い思いを何度もしている。自転車で安全に走行できる道・環境を整備してほしい。
自転車車両	・高齢になるにつれて免許返納を考えているが、坂道が多く自転車は難しい。アシスト自転車があれば利用することもできるかもしれない。 ・年齢が高く、上り坂もしんどいので、バイクが使えなくなったら電動自転車の使用を考えている。

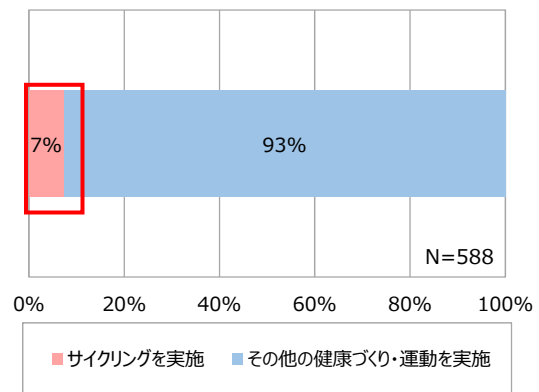
（５）健康づくり・運動の実施状況

- ・約 7 割が運動を実施しており、日常的に実施している人は約 2 割を占めています。しかし、運動を行う人の内、サイクリングの実施は 1 割程度にとどまっています。
- ・運動をしたい・もっとしたいと考えている人が約 9 割を占めており、その内の約 5 割はサイクリングの実施に興味があると回答しています。
- ・安全・安心な走行環境の整備や自転車やツールの提供・レンタル等が求められています。

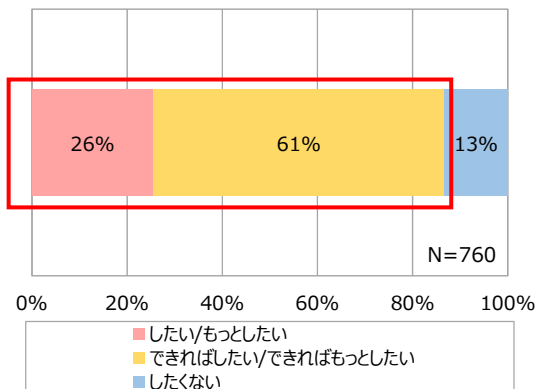
<運動の実施状況>



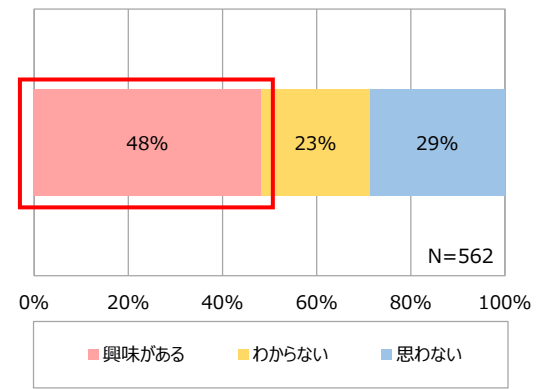
<サイクリングの実施状況>



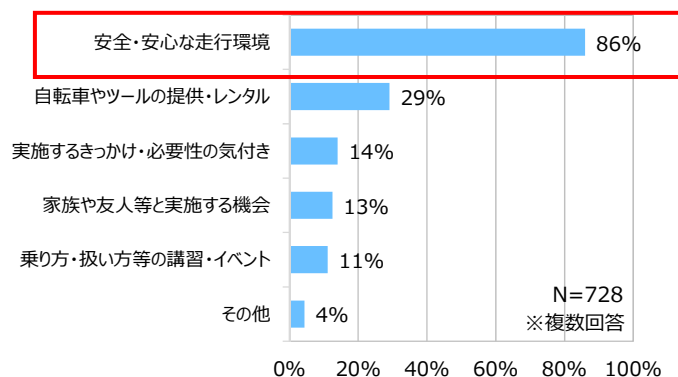
<運動の実施意向>



<サイクリングの実施意向>



■サイクリングを取り入れるために必要なこと



5-2 観光振興に対する関係者意見・関連施策動向

（１）観光施設・スポットに対する現状認識

ヒアリング等により把握した、観光施設・スポットに対する関係者の現状認識を以下に示します。

観光施設・スポットに対する現状認識（関係課意見）

- 海側の観光施設・スポットの利用は多いが、ローズガーデンや林昌寺等の山側施設への回遊はあまり促せていない。
- バラや藤等の「花」は泉南市の資源だが、季節が限定されてしまうため、通年で来訪を促せるような仕組みが必要。
- ローズフェスティバル開催中はシャトルバスが運行されているが、自動車利用も多く、周辺の道路が混雑している状況。
- あまり知られていない観光施設・スポットもあるので、上手く周知してもっと来訪してもらいたい。

（２）観光に関する関連施策の動向

観光に関する関連施策の動向を以下に示します。

■SENNAN CAMP

- ・りんくうエリアを中心に、子どもから高齢者まで生涯にわたりスポーツが楽しめ、国内外の学校やクラブによる合宿が可能なエリア「SENNAN CAMP（せんなんキャンプ）」としてのブランディングを推進
- ⇒エリア間の移動手段等を含めて、自転車による価値・魅力の向上が期待される

■泉州サイクルルート（一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューロー）

- ・サイクルマップの発行
- ・サイクルアプリ「泉州くるナビ」の活用促進
- ・ICTを活用した泉州サイクル周遊スタンプラリー
- ⇒泉州サイクルルートへの来訪が、泉南市への立ち寄り・活性化につながるような連携が望まれる

▽サイクルマップ



▽周遊スタンプラリー



出典：周遊スタンプラリーHP

出典：大阪泉州観光ガイドHP

5-3 自転車の利用実態のまとめ

自転車を活用したまちづくりの目標に対する自転車利用の実態を以下のとおり整理しました。

実態調査

2~3割が自転車を利用／道路特性から幹線だけでなく生活道路も利用

- ・自転車は2~3割程度の人利用し、多くが自動車を利用しています。
- ・自転車はりんくう南浜エリアや樽井エリアに向かう移動で多く利用されています。
- ・山側⇄海側では信達樽井線が、和歌山側⇄大阪側ではりんくう南周回線や国道26号が主要路線となっています。
- ・踏切位置等から歩道のない生活道路を利用するパターンが多くなっています。
- ・経路を選択する際は、距離の短さや通行空間の広さ、自動車の少なさ等が優先されています。
- ・通行環境に対してほとんどが満足していない状況です。

目標

目標①
自転車で、便利で快適な移動・生活を創出する

より上手く利用してもらうために、分かりやすい利用環境や教育が必要

- ・自転車を持たない人でも利用できる環境、運転しやすい安全・安心な走行環境が必要です。
- ・現状では後ろ向きに自転車を使う人（愛着・公共心低）が多く、通行方法を知っていてもほぼ守らない人もいる状況です。
- ・前向きに自転車を利用してもらうには、正しく使える環境や教育、多様な層が使いやすい環境が必要です。
⇒泉南市の多様な利用状況にあわせ、分かりやすく、安全・安心な通行環境
⇒通行空間以外の環境確保（シェアサイクル等）
⇒自転車を正しく使える、使う、雰囲気づくり、通行環境のモデル・ショーケースづくり、教育

目標②
特に、高齢者が安全・上手に使えるツールとする

高齢者でも活用可能性あり／安全・安心で運転しやすい環境が必要

- ・移動に支障がある高齢者等でも、自転車の利用可能性が一定存在しています。
- ・自転車の利用には、わかりやすく使いやすい環境、安心して利用できる環境が求められています。
⇒高齢者にも運転しやすく、安全・安心な通行環境（標示・案内、専用空間＋運転しやすいディテール）
⇒高齢者にも使いやすい通行空間以外の環境整備（電動アシスト等）

目標③
自転車により健康を増進する

健康づくりに自転車活用が可能／環境づくり・きっかけづくりが必要

- ・健康づくりや運動へのサイクリングの取入に興味がある人は一定数存在しています。
- ・サイクリングを楽しむためのコース設定・施設整備やパンク等の自転車修理を行う自転車販売店舗の拡充が求められています。
⇒サイクリングがしたくなる安全なコース・環境づくり、活用のきっかけづくり

関係者意見・関連施策動向

目標④
自転車を活かして周遊・地域活性化を促進する

周辺資源を活かし、自転車と連携させることで認知度・魅力向上が可能

- ・山側に位置する施設への回遊をあまり促せていません。
- ・「花」が主要観光資源となっていますが、季節が限定されてしまっています。
- ・イベント開催中は周辺道路で渋滞が発生しています。
- ・主に山側の観光資源の周知を行い、認知度の向上を図ることが必要です。
- ・泉州サイクルルートへの来訪が、泉南市への立ち寄り・活性化につながるような連携が望まれます。
⇒シェアサイクルの仕組み、既存のスポット、資源を活かした回遊のしくみづくり
⇒自転車による魅力の顕在化と併せた回遊性向上、自転車によるアクセスを含めた魅力づくり
⇒周辺エリアのサイクルツーリズム、自転車スポーツのハブ・コンテンツとしての地域ブランディング